

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
東京国際福祉専門学校	平成8年2月26日	武田 哲一	〒160-0022 東京都新宿区新宿1-11-7 (電話) 03-3352-9280				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人東京国際学園	昭和60年4月5日	武田 哲一	〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-3-8 (電話) 03-3367-1103				
目的	本校は、学校教育法の規定及び児童福祉業界並びに児童福祉の専門職を志望する者等の要望を踏まえ、職業実践専門課程に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として、企業等との連携を密にしながら実務に関する知識、技術について組織的な教育を行うものとする。						
分野	課程名	学科名		専門士	高度専門士		
教育・社会福祉	社会福祉専門課程	子育て支援学科		平成20年文部科学省告示第11号	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1786	526	1320	320	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数		兼任教員数	総教員数		
80人	67人	8人		11人	19人		
学期制度	■1学期:4月1日～9月30日 ■2学期:10月1日～3月31日 ■3学期:—		成績評価	■成績表 有 ■成績評価の基準・方法 平常点、試験、出席率を勘案し、100～80点A、79～70点B、69～60点C、59点以下F			
長期休み	■夏季:7月21日～8月31日 ■冬季:12月26日～1月7日 ■春季:3月20日～3月31日		卒業・進級条件	卒業:学則10条に定める授業科目の成績評価に合格し、所定の修業年限以上在籍し、課程を修了した者に卒業証書を授与する。 進級:卒業に準じる。			
生徒指導	■クラス担任制 有 ■長期欠席者への指導等の対応 例はないが、あれば、全学で対応する。		課外活動	■課外活動の種類 なし ■サークル活動			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 保育園 ■就職率 <sup>※1</sup> 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>※2</sup> 100 % ■その他 (平成 26 年度卒業者に関する平成27年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等	保育士			
中途退学の現状	■中途退学者 2名 平成26年4月1日 在学者 65名 平成27年3月31日 在学者 63名 ■中途退学の主な理由 体調不良、進路変更、経済的理由 ■中退防止のための取組 体調不良の学生、経済的に困窮している学生に対しては、学生及び保護者とあらゆる方途を模索している。なお、授業に遅れがちな学生に対しては、子育て支援学科全教員で徹底した個人指導を行い、学力不振による中途退学を未然に防いでいる。		中退率	3 %			
			平成26年4月1日 入学者を含む)				
			平成27年3月31日 卒業者を含む)				
ホームページ	URL: <a href="http://www.ti-fukushi.ac.jp">http://www.ti-fukushi.ac.jp</a>						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

本校は、保育士養成校として所定の必修科目について校内で講義、演習、実習等を行っているが、さらに、専門分野に関して、保育園において園児への接し方、声掛け方法など、現場において必要となる知識・技術・技能等を修得するため、知見のある企業等と連携した職業実践教育を行うことを基本方針としている。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年8月1日現在

No.	選出区分	名 前	所 属	備考
1	業界団体、職能団体	望月 太敦	東京都介護福祉士会理事	介護
2	業界団体、職能団体	浦尾 和江	東京都介護福祉士会副会長	介護
3	業界団体、職能団体	丸山 由美子	新宿区社会福祉協議会 支援課地域調整担当課長	介護
4	企業・関係施設の役職員	生野 浩平	株式会社アルファ・プロパティマネージメント デイサービス クオリティライフ両国 管理者相談員	介護
5	業界団体、職能団体	村越 いくよ	東京都社会福祉協議会保育士会 会長	子育て
6	業界団体、職能団体	大伴 美砂子	わらしこの会わらしこ第2保育園園長	子育て
7	企業・関係施設の役職員	大久保 光枝	杉並区立荻窪北保育園園長	子育て
8	学校内委員	武田 哲一	学校法人理事長・校長	学校内
9	学校内委員	木村 雅之	福祉担当理事・事務局長	学校内
10	学校内委員	齋藤 千秋	介護福祉科主任	学校内
11	学校内委員	松井 友子	子育て支援学科主任	学校内
12	学校内委員	小林 幸弘	事務局長補佐	学校内
13	学校内委員	宗 國男	教育課程編成委員会事務局担当	学校内

### (開催日時)

第1回 平成27年7月22日 18:00～21:00

第2回 平成27年8月4日 18:00～20:00

第3回 平成27年8月26日 18:00～21:00

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

本校及び関係業界等が求める育成人材像の育成に適った実習等であること、実習先及びその利用者に迷惑をかけない実習であること、実習中及び実習後、実習生、施設の実習指導者及び本校教員による徹底した実習の振り返り・反省を行うことを基本指針としている。コミュニケーション、児童と保護者の理解、日常生活の保育技術、実習施設の役割と機能、チームワークと連携、倫理と態度、指導計画案の作成、「気になる子」の対応などの習得を実習の目標としている。

科目名	科目概要	連携企業等
保育実習Ⅰ (保育所)	保育所の保育について、生活や遊びの場に参加・体験することにより、乳幼児の様子を知る。 子どもと保育者の関わりを通して、保育所が社会に果たす役割や機能を具体的に学ぶ。 他科目の学びと保育の実際を結びつけ、学びを深める力を養う。	①荻窪北保育園 ②わらしこ保育園 ③わらしこ第2保育園 ④にじいろ保育園氷川台 ⑤みたかつくしんぼ保育園
保育実習Ⅰ (施設)	児童厚生施設や知的障害児通所施設、その他の社会福祉施設の活動に参加し、保育士として必要な資質、能力、技術を学ぶ。 困難を抱える子どものための施設や日常生活に関わり、援助の現状を理解する。 施設の役割、機能等を学ぶ。	①目黒恵風寮 ②NPO法人子育て支援乳幼児親子教室 ③厚生館立花 ④啓光学園 ⑤旭出学園調布福祉園

保育実習Ⅱ	保育所の保育活動を通して、保育実習Ⅰ期(保育所)で身につけた保育士としての保育能力・技術を一層深める。 家庭や地域への関心と視野を広め、子育て支援に対する保育所の役割や機能を理解する。	①わらしこ保育園 ②わらしこ第2保育園 ③荻窪北保育園 ④みたかつくしんぼ保育園 ⑤せたがや小鳥の森保育園
保育実習Ⅲ	保育実習Ⅰ期(施設)で習得した知識や能力をさらに深める。 児童厚生施設や知的障害児通所施設、その他の社会福祉施設の活動に参加し、保育士としての必要な資質、能力、技術を学ぶ。 職業倫理についても理解する。	①八潮児童センター ②NPO法人子育て支援乳幼児親子教室 ③デイセンターつみき第2 ④かしわビレッジ ⑤まつば園

### 3. 教員の研修等

#### (教員の研修等の基本方針)

教員研修は、企業等との連携を重視しながら、教員の資質及び能力の向上を図り本校の教育理念に沿った教育を行うのに相応しい教員を養成することを目的とした研修を行う。研修の内容は、教員研修規程第3条に定めたとように、教員が現に担当し、又は、将来担当することが予想される教務と責任の遂行に必要な知識、技能等を修得させる内容とする。校長は、教員研修規程第4条に基づき、研修計画を立て教員に研修の機会を与えなければならない。教員は、教員研修規程第5条に基づき、命じられた研修は受講しなければならない。校長は、研修を実施した場合は、研修計画書の改善、職員の活用その他の人事管理に資するため、研修の記録を作成する(教員研修規程第6条)

### 4. 学校関係者評価

#### (学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年7月1日現在

名 前	所 属
望月 太敦	東京都介護福祉士会 理事
徳堂 泰作	社会福祉法人東京ムツミ会ファロ 施設長
長澤 正雄	社会福祉法人新川中原保育会みたかつくしんぼ保育園 理事長
大伴美砂子	社会福祉法人わらしこの会わらしこ第2保育園 園長
渡邊正二郎	平成24年3月 介護福祉科卒業
俣野 朋子	平成27年3月 子育て支援学科卒業

#### (学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.ti-fukushi.ac.jp> 本校ホームページに掲載

### 5. 情報提供

#### (情報提供の方法)

URL: <http://www.ti-fukushi.ac.jp> 本校ホームページに掲載

授業科目等の概要

(社会福祉専門課程子育て支援学科) 平成27年度			1												
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			日本国憲法	憲法の既存理念、保障される権利、義務、法の解釈、我々の生活との関わりを学ぶ。また、保育士に必須の法令等を学ぶ。	1年前	30	2	○			○			○	
○			ビジネス実務	社会参加意識、福祉職に対する意識を明確にする。日本語の標準的な表現を身につけ、福祉施設等で使用されている文書作成技術を学ぶ。	2年通	60	2		○		○				○
○			パソコン操作	Word、Excel等の使用方法を学び、福祉施設等での文書作成能力を身に付ける。また、インターネットの活用も学ぶ。	1年通	60	2		○		○				○
○			英語	外国人に対する対人援助場面やインタビュー等において臆することなく対応できる能力を身に付ける。	1年通	60	2		○		○				○
○			体育理論	運動の必要性と実践理論を学び、保育士として、児童や保護者に対して指導的役割を担えるようにする。	1年前	16	1	○			○				○
○			体育実技	保育施設等で実践できる走る・跳ぶ・支えるなどの身体運動技術を身に付け、併せて、学生自身の体力向上も目指す。	1年前	30	1		○		○				○
○			保育原理	子どもの最善の利益を保障する保育とは、養護と教育の一体性、発達過程に応じた保育とは、などを学ぶ。	1年前	30	2	○			○			○	
○			教育原理	教育の意義・目的、児童福祉との関わりについて理解する。さらに、教育の思想、歴史的変遷等についても学ぶ。	1年前	30	2	○			○			○	
○			児童家庭福祉	児童福祉法制度、福祉機関等を通じて、子どもの権利について学び、保育士の役割と関連分野との連携の在り方を学ぶ。	1年通	60	1	○			○			○	

授業科目等の概要

(社会福祉専門課程子育て支援学科) 平成27年度											2				
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			社会福祉	社会福祉の意義、歴史、理念、法体系、制度、行財政などを学ぶ。また、児童福祉、児童の権利、家庭支援との関連を学ぶ。	1 年 通	60	4	○			○	○			
○			相談援助	虐待・障害児・ひとり親などの課程の事例から、相談援助の意味、目的を理解し、相談援助の技法を習得する。	1 年 前	30	1		○		○	○			
○			社会的養護	児童養護の法体系と子どもの権利条約との関連を学び、児童の人権擁護及び自立支援などを理解する。	1 年 後	30	2	○			○	○			
○			保育者論	保育における専門性に基づく職務内容を理解する。また保育の今日的課題を確認し、保育の質の向上を目指す保育士像を探る。	2 年 後	30	2	○			○	○			
○			保育の心理学Ⅰ	人間の胎児期、新生児期、乳児期、幼児期等の各発達段階の特徴を知り、教育心理学の基本事項を学ぶ。	1 年 前	30	2	○			○	○			
○			保育の心理学Ⅱ	保育実践に関連する心理学の知識と、子どもの発達に関する心理学の基礎を習得し、子どもへの理解を深める。	2 年 後	30	1		○		○	○			
○			子どもの保健Ⅰ	子どもの身体発達や生理機能並びに精神機能の発達と保健について理解する。また、子どもの疾病と予防法等について学ぶ。	1 年 通	60	4	○			○	○			
○			子どもの保健Ⅱ	脳科学及び身体面から見た成長、発達を正しく把握し、健康の保持増進に関わる技術を専門職として正しく理解する。	2 年 前	30	1		○		○	○			
○			子どもの食と栄養Ⅰ	食生活の意義や栄養について学び、食育の環境と地域社会との関わり、家庭や福祉施設における食生活の現状と課題を学ぶ。	1 年 後	30	1		○		○		○		

授業科目等の概要

(社会福祉専門課程子育て支援学科) 平成27年度										3					
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			子どもの食と栄養Ⅱ	栄養の基本的概念と栄養素の種類・機能を学ぶ。離乳期の食形態と虚空機能の発達、献立、調理の基本、授乳等について学ぶ。	2年前	30	1	○			○			○	
○			家庭支援論	課程状況を多角的に捉え理解する。子育ての社会化とは何か、家庭支援のあり方や保育士の役割を理解する。	2年前	30	2	○			○			○	
○			保育課程論	発達のプロセス、保育の計画と評価を理解する。保育課程の編成と指導計画の作成について具体的に理解する。	2年後	30	2	○			○			○	
○			保育内容総論	保育の目標、子どもの発達、保育の内容を関連付けて理解し、保育の全体的な構造を学ぶ。保育内容と子ども理解の関連も。	2年前	30	1	○			○			○	
○			人間関係Ⅰ	家族、保育士、他の大人、子どもたち同士との出会いなど。成長過程において人との関わりがどう影響していくか理解する。	1年後	30	1	○			○			○	
○			言葉	保育士として、言葉で表される意志や感情の意味を理解し、人との関わりにおける言葉の役割を学ぶ。	1年後	30	1	○			○			○	
○			環境	保育環境の整備と、子どもたちにどのような点を注意して援助すべきかを、保育現場の事例を通して理解する。	1年前	30	1	○			○			○	
○			健康	子どもの健康を考え、その維持・回復に必要なことを学び、併せて、保育士自身の身体的、精神的、社会的な健康について学ぶ。	1年前	30	1	○			○			○	
○			表現	コミュニケーションの意味と保育士の役割について学ぶ。乳児期の育ちと保育の現代的課題を表現の領域から理解する。	1年前	30	1	○			○			○	

授業科目等の概要

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			乳児保育Ⅰ	わが国の乳児保育の変遷と保育所・乳児院・家庭の現状を確認しながら、乳児保育の理論、知識、技術の日本を理解する。	1 年 後	30	1	○			○				
○			乳児保育Ⅱ	3歳未満児の発達と保育について事例を通じて学ぶ母親の役割と愛着及び3歳児神話の関係とともに各種問題行動について学ぶ。	2 年 前	30	1	○			○				
○			障害児保育Ⅰ	様々な障害についての基礎、発達と障害の関連及びその援助・支援の方法、環境構成等について学ぶ。	1 年 後	30	1	○			○				
○			障害児保育Ⅱ	障害に関する各論を学ぶ。各障害について現場で必要な問題を取り上げる。また、日常生活・食事・排泄・更衣動作等具体的な保育方法を学ぶ。	2 年 前	30	1	○			○				
○			社会的養護内容	社会的養護を要する児童について具体的な事例を通し、児童の心理の成長や発達、子どもの最善の利益、権利保障実現のための援助について学ぶ。	2 年 前	30	1	○			○				
○			保育相談支援	保育相談支援の意義や基本を理解する。地域の資源活用、関係機関との連携、協力について理解し、保育の特性と保育士の専門性の活用を学ぶ。	2 年 後	30	1	○			○				
○			音楽Ⅰ	子どもの豊かな音楽表現を導く保育の展開は、優れた感性を持つ保育者により可能だ。音楽による表現活動、子どもの育ちにとっての意味を学ぶ。	1 年 通	60	2	△	○		○				
○			造形	子どもは描く、造る活動を通して、思いを表現する。その思いを受け止める保育者としての知識・技能を学ぶ。	1 年 通	60	2		○		○				
○			保育実習Ⅰ (保育所)	保育所保育の実践的体験から、その面白さを感じ取り、保育への関心を高める。一日の保育の流れ、保育環境、乳幼児の生活や遊びについて学ぶ。	1 年 後	80	2			○	○			○	○



授業科目等の概要

分類			授業科目名	授業科目概要	5			授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択			配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			保育実習Ⅰ (施設)	困難を抱える子どものための施設や日常生活にかかわり、援助の現状を学ぶ。施設の役割、機能、保育士の果たす役割を実践的に捉える。	2年前	80	2			○		○		○	○
○			保育実習指導Ⅰ	実習の意義、目的、心構え、事前の事務手続き、実習目標、保育日誌の書き方、実習施設の事前学習、実習後のまとめなどを学ぶ。	1・2年	60	2		○		○		○		
○			保育実践演習	実習の意義、目的、心構え、事前の事務手続き、実習目標、保育日誌の書き方、実習施設の事前学習、実習後のまとめなどを学ぶ。	2年通	60	2		○		○		○		
		○	家族社会学	家族支援を行う前提として、現代の家族像を社会的に捉える。つくられた家族、現代家族、現在の家族制度、について学ぶ。	1年前	30	2	○			○		○		
		○	保育文化史	先人が築いてきた保育を子どもの暮らしや文化に関連させ、歴史的視点から探る。保育の展望を見出す力を育成する。	2年後	30	2	○			○		○		
		○	子どもの遊び研究	遊びの理論と実践を学ぶ。演習的側面も取り入れ、遊びと生活・学び・教育・親子人間関係・世代間交流等について学ぶ。	2年前	30	1		○		○		○		
		○	人間関係Ⅱ	集団保育における子ども同士の関係、保育者集団のなり方なおについて実践的に学ぶ。	2年前	30	1		○		○		○		
		○	乳幼児の表現遊び	表現遊びを実践的に学習することにより、子どもの内面が豊かに育つための表現遊びとは何かを理解する。	2年前	60	2		○		○			○	
		○	子どもと造形遊び	造形遊びを通して、素材の色・形・質を変化させる面白さ、新たな発見などを体験する。造形遊びが子どもの育ちに与える意味を学ぶ。	2年通	60	2		○		○			○	

授業科目等の概要

(社会福祉専門課程子育て支援学科) 平成27年度											6				
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	子どもと絵本	絵本の歴史的変遷に触れながら、絵本を娯楽性、教育性、文化性などから捉え、絵本観を探る。	2年通	60	2	○			○	○			
		○	音楽Ⅱ	基礎的な呼吸法・発声法を基に、ピアノ、打楽器、童謡、わらべうたなどを学ぶ。豊かな心と感性を高める。	2年通	60	2	○			○	○			
	○		保育実習Ⅱ	保育所の保育活動を通じて保育実習Ⅰ－1で身につけた保育士としての必要な能力・技術を一層深める。職業倫理の学び。	2年後	80	3			○	○		○	○	
	○		保育実習指導Ⅱ	保育実習Ⅰから得た自己の課題を振り返り、新たな課題を明らかにし実習目標を確認する。	2年後	30	1	○			○	○			
	○		保育実習Ⅲ	保育所の保育活動を通じて保育実習Ⅰ－1で身につけた保育士としての必要な能力・技術を一層深める。職業倫理の学び。	2年後	80	3			○	○		○	○	
	○		保育実習指導Ⅲ	進路選択の手がかりとなる実習に向け事前学習に臨む。子どもの抱える問題とその背景等について理解を深める。	1年前	30	1	○			○	○			
○			心理学	心理学の歴史的発展と概要を理解する。乳幼児期、児童期、青年期、老年期等に特有な身体的・心理的特徴を学ぶ。	1年前	30	2	○			○	○			
合計			52科目			2166単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件～学則第10条に定める授業科目の成績評価に合格、所定の修業年限以上在籍し課程を終了すること。履修方法～全科目を履修のため、全科目を履修、課程終了となる。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。